



(写真撮影：赤間茂幸委員)

▶ 勝利をめざし…熱い激闘!! ◀

大郷小学校運動会キャッチフレーズ
「最後まで全力で熱くなれ運動会」

- 2 第1回議会報告会

- 5 6月定例議会
国民健康保険料減額

- 7 町政を問う「一般質問に4名が登壇」

- 14 委員会活動リポート

- 15 追跡リポート その後どうなった…

みんなの

議

会

おおと

NO.

187

2017 平成29年 8月1日

未来の大郷を!!

第1回議会報告会に45名が参加（5月20日・27日）

平成29年度議会報告会は議員7名体制で2班に分かれ、4会場で開催しました。参加した45名の皆さんから延べ41件の声があり、政策提言に活かすものなど議会全体で取り組んでいきます。

こうして欲しい
意見・要望

おおさと
地域振興公社の
活用について

開発行為に
対するまちの
指導は

住環境の
整備について

議会での
生の声を流す
方法はないか

公社の
有効活用を
議会でも

議会の
土・日開催
検討を

議会へ

議会報告会の
継続を



共に考えましょう



防災無線の
更なる
活用を

スクールバス
運行範囲の
拡大を

町へ

定住化構想の
施策は

議会へ
ここはどうか
質疑・応答

問 議会での生の声を流す方法はないのか。

答 議会改革調査特別委員会でも前向きに検討中である。

問 開発センターや縁の郷の活用について。

答 昨年度テナント募集したが不調だった。早期に改革するよう強く町や公社に要望している。

問 土・日の議会開催を。

答 町と協議し、一人でも多くの町民が議会傍聴できるように検討したい。

問 議会報告会の継続を。

答 よりよい報告会を継続して取り組んでいきたい。

問 町道の修繕等にもっと取り組んで欲しい。

答 常日頃より議会からも声をあげているがさらなる要求をしていく。

問 防災無線でもっと町の行事や情報（衛生の消毒等）を放送してほしい。

答 利用できるような提言していく。

問 議員の質問に対する回答はどうなっているのか。

答 質問するだけで終わっているのでは。

問 議会広報の追跡リポート等で実現に迫っている。

答 善処・検討で終わらないよう議会活動で取り組んでいる。

問 議会報告会の宣伝が少ないのでは。

答 防災無線等を活用し宣伝をする。

第1回議会報告会



定住化構想について

問 町営住宅東沢団地の今後と経過について。

答 基本的にすべて高崎団地への転居をお願いしている。地区区長との連携を密にして事業を進めていく。

問 未明ニュータウン造成工事の進捗状況と開発に対する監視強化を。

答 工事は平成38年3月まで延長されている。県と合同の立入調査、巡回等を行い土砂流出防止等に努めている。

問 高崎団地分譲宅地の販売価格は。

答 不動産鑑定価格を考慮のうえ、公有財産取得等調整会議にはかり、分譲価格を算出する。

開発関係等について

問 土砂採取によるダンプ車両通過に伴い傷んでいる道路などの修繕を急いでほしい。

答 道路の損傷箇所については、緊急維持工事に対応している。また、道路全体に損傷が見られる路線につ

いては、国での対応を要望している。

問 豪雨時の災害パトロール隊による敷地内進入を拒否している企業への指導について。

答 5月29日に設立した大郷町川内・東成田地区採石事業者連絡協議会の中で合意を図っていく。

住環境整備について

問 生活道路に指定後の舗装整備の優先順位等は。

答 順次、財政状況により、測量設計を実施し、道路改良、舗装工事を行っている。

問 衛生組合における使用薬剤、散布方法などの統一的な指導を図ることはできないか。

答 地区の実情に合わせた有効的、効果的な散布方法について検討していく。

問 旧大松沢中学校敷地周辺の草刈り等、管理状況は。

答 敷地内外の草刈り等、日常的な管理は事業者で行うことになる。なお、法面補修については、町で対応する。

その他の意見

問 防災無線の活用について。

答 住民に周知が必要な事項は、各課から総務課へ依頼し発信している。各行政区への周知事項については、行政区長が発信の依頼を行うことになっている。

問 中学校のスクールバス運行範囲を、一定距離以上を対象に町内全域に拡大を。

答 中学校スクールバスの運行範囲変更は予定していない。住民バス利用や自転車通勤をしている生徒もいる。状況を今後も注視していきたい。

問 公共事業の入札について。

答 適正な競争が行われるよう制度の適切な運用を図っている。

問 交通指導隊隊員の年齢の引き上げを。

答 条例により、20歳以上65歳未満と年齢制限をしている。

議会の情報はホームページでもご覧になれます

町政とあなたを結ぶ
大郷町議会

大郷町公式ホームページからリンクします。
<http://www.town.miyagi-osato.lg.jp>

町議会の役割としくみ	議会傍聴のご案内	請願・陳情の手続き	町議会議員の紹介
定例会年間予定	議 会 日 程	定例会一般質問	審 議 結 果
会 議 録	議 会 広 報	お 知 ら せ	大 郷 町 H P へ



基礎課税額に係る税率の改正について

税率改正	改正前	改正後
所得割額	100分の5.5	100分の5.4
資産割額	100分の27.3	100分の24.2

軽減判定所得の改正について

軽減割合	改正前	改正後
5割	基礎控除額(33万円) +(26.5万円×被保険者数) 以下	基礎控除額(33万円) +(27万円×被保険者数)以下
2割	基礎控除額(33万円) +(48万円×被保険者数) 以下	基礎控除額(33万円) +(49万円×被保険者数)以下

国民健康保険税 税率改正

保険料減額・軽減世帯枠が拡大

平成29年第2回定例議会は6月6日から9日までの会期日程で開催されました。専決処分5件、繰越計算書5件、条例の一部改正2件、一般会計補正予算、特別会計補正予算、その他の議案1件、委員会発議2件を原案どおり可決しました。

主な質疑

国民健康保険税 条例の一部改正

問 財源的に本町ではどのくらいの減額になるのか。

答 町民課長 今回の減税で保険税は1363万4千円の減額となる。

問 国民健康保険財政基金残高を有効に使うということであるが、基金にはあまり手を付けなくて済むような財源ではないか。

答 町長 年度内に膨大な出費が出るかもわからない。さらに様々な検診等を導入しながら町民の健康維持に努めていかなければならない。

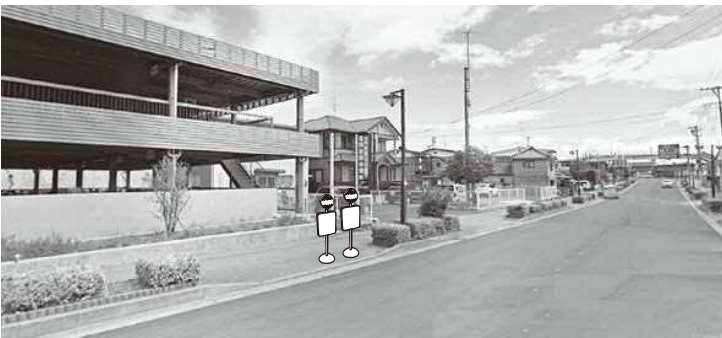
問 今回基金を積み増ししていった場合、県単位化した時の影響は。

答 町民課長 県単位化においても国、県から基金の使い方は示されていない。一定規模の基金残高を目標としながら、今後も減税策を講じていく。

区域外の公の施設について (住民バス松島町役場バス停移設)

問 バス停の場所を変えるということであるが、利用者への周知方法は。

答 企画財政課長 移設設置は国道の仮設道路の取りつけ工事が未定であるので、今後工事施工業者、松島町と情報共有をし、支障がないよう早めに周知する。



▲バス停移設予定地 (松島駅前駐輪場前)

園舎増築3歳児保育実施へ

幼稚園設計業務1720万円計上

一般会計は、3870万円を追加し、歳入歳出合計で42億7390万円の予算となりました。

一般会計補正予算

主な質疑

平成31年4月開園予定

問 30年度実施予定とされていたが31年度に延期となった理由は。

答 町長 当初30年度目標としていたが、増築が必要となり、今年度設計、30年度に建築、31年度4月開園予定である。

問 園庭の広さ、人材確保に問題はないのか。

答 町長 園庭は十分確保できる。職員は31年度採用でしっかりと対応したい。

文化会館屋根防水工事

問 外壁改修工事と合わせ防水工事を追加した理由とは。

答 教育課長 以前の改修より10年が経過したことから外壁改修工事と合わせて行うことが効率的と判断した。工期は年度内完了を目指す。

問 スポーツ奨励金の内容は。

答 教育課長 町内に在住する小・中・高校生が基本で全国大会以上、中学生以下は東北大会規模も対象にしている。

自動車運転免許取得助成金

問 助成金の内容は。
答 総務課長 町所有の給

水車、消防自動車等を職務上運転しなければならぬ職員、またAT車限定の職員に取得経費の2分の1を補助するものである。

国民健康保険特別会計

主な質疑

問 国民健康保険財政基金の額から見て、今回の改正額が少なすぎるのでは。

答 町長 28年度3500万円、29年度1500万円を減額した。基金の残高については、高齢化率や退職者の国保加入等があり、毎年のように変化している。今後の状況を見ながら検討していく。

主な一般会計補正予算の内容と金額

○自動車運転免許取得助成金	64万円
○住民バスカーマージ業務	48万円
○バス機器購入(ドライブレコーダー等)	76万円
○農業経営体育成支援事業補助金	290万円
○スポーツ奨励金	10万円
○幼稚園設計業務	1720万円
○文化会館外壁等改修工事	1814万円

町政を問う!!



質問者(登壇順)	質問事項(通告順)	ページ
1. 高橋重信	1. 町の基幹産業である農業振興について 2. 川内地区、新工業用地造成工事をすることで企業誘致ができるのか。	8
2. 和賀直義	1. いじめ問題の取り組み状況について 2. 企業誘致について	9
3. 千葉勇治	1. 県が検討している上下水道事業の一体官民連携構想に対する本町の考え方について 2. 国民健康保険税について 3. 新工業用地造成工事について	10
4. 大友三男	1. 企業誘致及び東北放射光施設誘致の現状や今後について	11

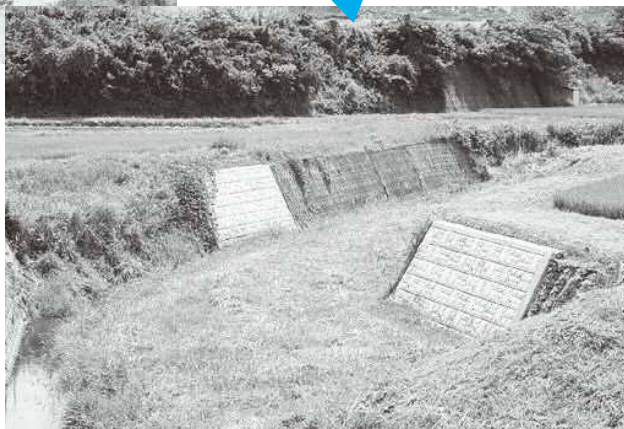
一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて報告や説明を求め、疑問点を質すことです。

大郷町議会では1人の質問時間を、町からの答弁も含めて60分以内としています。

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報広聴常任委員会で要約したものを掲載しています。



▲農地保全を見すえた河川改修（川内地区）



改修後



高橋 重信議員

基幹産業である農業振興について

優良農地等の維持・保全に努め農業振興を図る（町長）

問 集中している開発行為により、基幹産業の農業に影響はないのか。

答 町長 優良農地等を維持するため、農振法や農地法による法的措置が講じられるので開発行為による農業への影響はない。

問 川内・東成田地区に土取場が集中しているが、町全体の面積は。

答 企画財政課長 土取り関係では、町内全域で、現在約239ha。

問 大松沢地区に太陽光発電が集中しているが、町全体の面積は。

答 企画財政課長 太陽光は稼働中と計画分の合計で303ha。

問 広大な面積が開発され、基幹産業の農業をどの方向に導いていくのか。

答 町長 中間管理機構を通じて各地区において法人化あるいは集落営農等の組織化、集積を進め、後世に

伝わるよう農地を守り保全をし、そして生産性を高めるように指導している。

問 山林開発が進むと、土砂流出や用水路及び堰の破損、保水力低下への懸念がある。

乱開発を防ぐ条例をつくる必要があるが。

答 町長 山林の開発については県などと、どのような対策がいいのか調整、相談していく。

新川内造成工事で企業誘致ができるのか

問 「企業に提供できる用地がなく早急な工業用地整備が必要」との説明であるが、6千坪、6億円近くの高額なる工事はすべきではない。

答 町長 交通の利便性の良い適地に用地を確保できないか検討作業に着手し、候補地の地権者と交渉を進め、同意は得た。しかし、

震災後の工事費等の高騰により、総事業費が多額になっており、整備方法、区画等について検討をしている。

問 宅地より高い工事をして勝算はあるのか、責任を取れるのか、しっかりとした計画で臨むべきである。

答 町長 大郷・松島インターへ2分、大和インターには15分以内で乗り入れできる地域だ。いかに安く工業団地をつくるか試行錯誤をしている。新たな基金を創設し、企業誘致を進める。



和賀 直義議員

いじめ問題の取り組み状況について

未然防止、早期対応に努める(教育長)

問 責任論に終始しがちなると萎縮や隠蔽につながる。どこの学校でも起こりうることで、家庭や地域、学校、教育関係者がいじめに真正面から向き合うことが重要だ。いじめの実態把握はどのようにしているのか。

答 教育長 アンケートの実施、ノートの記述や作文等にも目を通し、いじめの記述があった場合は必ず個別面談を行い、その後担任、学年部、生徒指導部、いじめ担当教員、教頭、校長が組織的に対応している。

問 いじめ対処方針と防止対策は。

答 教育長 いじめを受けたとの声があった時点で「いじめ」が成立、「いじめは犯罪である」という共通認識に立ち、教育的更生の原則で対処。「いじめ問題対策連絡協議会」「いじめ問題対策専門委員会」を設置し、関係機関が情報を共有し、未然防止、早期対応に努めている。

問 心の変化をどんな方法でくみ取っているのか。

答 教育長 朝の会での健康観察、休み時間や給食時の会話、保健室での様子、クラブ活動等、教職員全体で情報の共有化に努めている。

問 家庭が大きな役割を担う、子どもの変化に敏感になるための啓発活動が必要だ。大阪の寝屋川市では保護者向けにハンドブックを作成しているが。

答 教育長 家庭や地域、保護者向けの啓発活動は重要だ。ハンドブックの配布は実施する。

問 子どもに丁寧に接する時間の確保は。

答 教育長 教務主任や教頭が授業を受け持ち、特別支援教員補助者等の配置により余裕をもって向き合えている。

企業誘致の課題は

問 放射光施設の建設地に東北大青葉山との報道、今後の誘致活動は。

答 町長 放射光施設の利用企業と交流を行う。

問 36年度の目標、35事業所、1250人の従業員数、達成見込みは。

答 町長 達成する見込みである。

問 誘致企業ターゲットと県との連携は。

答 町長 自動車関連産業や高度電子機械産業、食品関連産業等の本町の地域特性に合致した優良企業の誘致を促進する。産業立地推進課に町職員を派遣し企業情報の把握に努めている。

問 企業誘致の課題は。

答 町長 新たな工業団地の造成が喫緊の課題だ。



▲楽しく！生きいきした学校生活を



▲生命を守る水の安全供給を



千葉 勇治議員

3水道事業のコンセッション方式に対する町の考え方について

県や関係市町村との十分な調整が必要(町長)

命の水を守るのに

民間運営に不安はないか

問 県は上水・工業水・下水の3水道事業を民間企業(コンセッション方式)に委託する方針案を示している。利潤追求の民間会社による管理運営を委託することで、命に直結する水の安全・安心が保障されるか大きな不安感を抱かざるを得ない。所見を伺う。

料金値上げの不安はあるが

答 町長 民間業者の参入で利用者が料金の値上げや撤退の懸念を抱く恐れはあるが、県ではこれまでどおり公営事業として水道用水供給事業者の責務は果たすとしており、問題はないと考えている。「3水道事業一体化」構想について4月に初めて分かったもので、町村会で連携を取りながらメリット・デメリット等々

検討しながら県の方に要望していく。

国民健康保険税について

県単位化で保険税はどうなる?

問 30年度からスタートする国民健康保険制度の県単位化について、多くの被保険者には制度内容が伝わっておらず不安を抱いている。今後のスケジュール・方針について早急にお知らせを。

保険税は当面は各自自治体で決定

答 町長 スケジュールについては、29年内に県知事が方針を決定、保険税算定は年末に国から標準的税率・単価などが県に示され、それに基づき30年明けに保険税は町が決定することになっていく。被保険者には制度改正についてはチラシや広報等で周知を図っていく。

多額の基金を取り崩し

国保税のさらなる引き下げを

問 今回の改正により保険税を引き下げても多額の国保基金が残る(27年度末で2億7145万円+28年度繰越見込額7000万円)で3億4000万円)。さらなる引き下げで被保険者の負担軽減を図るべきではないか。

県単位化で基金を税額の激変緩和対策にも

答 町長 基金活用については、平成30年度からの県単位化で税率改正は必須で、税額が急激に変化する世帯も生じることが予想されるので、その際の激変緩和の措置等に基金を活用していく。



大友 三男議員

企業誘致及び東北放射光施設誘致の今後について

関連企業や一般企業の誘致を目指し跡地利用していく(町長)

問 黒川地域と広げて誘致活動をしてきたが東北大青葉山キャンパス232点、松島町187点、大郷町166点と、単独で誘致活動を行った松島町より点数が少なく、落選したことは、黒川地域の各首長の方々に迷惑をかけたのではないかと。誘致要望活動をしてきた中、大変な協力をいただいた。私は決して迷惑ではないと思っている。今後、さらに大郷町の発展のために、支援をいただきたいということでお礼をした。

問 今後跡地をどのように活用するのか。

答 町長 東北放射光施設の研究施設や生産施設の誘致を柱に関連企業の誘致を目指す。

企業誘致について

問 6億円投入し、2町歩の工業団地を造ると説明があったが、大郷町全体の発展を考えた場合、大衡インターに近い上郷、五仏、石原、木ノ崎地区に、川内工業流通団地のように、町の税金を使わずに民間会社の力で開発する事を考えてはどうか。

答 町長 当時はさまざまな企業が資本を投下し工業団地などを開発したが、今はそういう時代ではない、今後は国、県の補助があるのであれば、それらを活用しながら進めていきたい。

問 昨年4月、蜂蜜製造会社ジャパンロイヤルゼリー(株)の話をなぜ断ったのか。

答 町長 牧場跡地300町歩をお願いしたいという話だったが、あの場所は砂を搬出しており、民間にも所有権を譲渡した土地である。町として押さえているのは東北放射光施設用地の50町歩だけであったため断った。

問 今後、未来の子どもたちのために自然を生かしながら地方創生のモデルづくりをしたいという話が来たらどうするか。

答 町長 それぞれの地域、場所等を検討しながら対処していく。

問 本町創生にとって、来るか来ないか分からない、放射光誘致にこだわり過ぎ

答 町長 あくまでも、牧場跡地300町歩で事業をやりたいと言う事で断った。結果的に、私は損失とは思っていない。



▲東北放射光施設建設候補地の有効活用を

平成29年第2回定例議会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	7日	適任	13	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同意第1号	大郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	7日	同意	13	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度大郷町一般会計補正予算(第7号))	7日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(大郷町税条例の一部を改正する条例)	7日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(大郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	7日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(大郷町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	7日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	7日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について(平成28年度大郷町一般会計繰越明許費繰越計算書)	7日	報告のみ																
報告第2号	事故繰越し計算書について(平成28年度大郷町一般会計事故繰越し繰越計算書)	7日																	
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について(平成28年度大郷町宅地分譲事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	7日																	
報告第4号	事故繰越し計算書について(平成28年度大郷町宅地分譲事業特別会計事故繰越し繰越計算書)	7日																	
報告第5号	繰越計算書について(平成28年度大郷町水道事業会計繰越計算書)	7日																	
議案第29号	大郷町国民健康保険税条例の一部改正について	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	大郷町道路占用料条例の一部改正について	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	区域外の公の施設の設置について	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	平成29年度大郷町一般会計補正予算(第1号)	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	平成29年度大郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第1号	大郷町議会会議規則の一部改正について	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第2号	議会傍聴人規則の一部改正について	9日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席 ※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

請願

継続審査

第2回定例会に提案された請願は総務産業・教育民生常任委員会に審査を付託した結果、それぞれ継続審査を要するものと決定された。

最低賃金の改善と中小企業支援の充実を求める政府に対する意見書採択を求める請願

【請願者】

宮城県春闘会議

代表幹事 高橋正行

(総務産業常任委員会へ付託)

宮城県国民健康保険運営方針に係る意見書採択についての請願

【請願者】

塩釜地域社会保障推進協議会

代表幹事 内藤 孝 外4名

(教育民生常任委員会へ付託)

議会の主な動き (4/1~6/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
4/1	大郷保育園入園式並びに進級式	5/22	宮城県町村議会議長会正副会長会議・監事会(仙台市)
4/6	春の交通安全運動大郷町開始式、広報広聴常任委員会	5/23	議員全員協議会
4/10	大郷小・中学校入学式	5/23	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会(松島町)
4/11	大郷幼稚園入園式	5/23	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会(大崎市)
4/16	大郷町婦人会通常総会	5/24	黒川地方ゲートボール連絡協議会第21回春季ゲートボール大会
4/17	広報広聴常任委員会	5/24	議会運営委員会
4/19	総務産業常任委員会	5/26	くろかわ商工会通常総代会(大和町)
4/19	黒川地方市町村議会連絡協議会監事会並びに役員会(大郷町)	5/27	議会報告会(中村分館・大松沢社教センター)
4/25	教育民生常任委員会、議員全員協議会、議会改革調査特別委員会	5/28	黒川森林まつり
4/26	大郷町ボランティア友の会総会	5/29	大郷町シルバー人材センター定期総会
4/27	大郷町老人クラブ連合会総会	5/30	議会運営委員会
4/28	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議(松島町)	5/31~6/1	全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
4/28	宮城黒川地方町村長・議長懇話会(松島町)	6/5	宮城県町村議会臨時総会(仙台市)
4/29	B&G財団会長杯大郷町招待少年柔道大会	6/6~9	第2回(6月)定例会
5/1	大郷町東北放射光施設誘致促進協議会	6/6	総務産業、教育民生、広報広聴常任委員会
5/9	宮城県黒川地方町村議会議長会正副会長会議・監事会(仙台市)	6/11	大郷町消防団・黒川地区連合消防演習
5/10	議会改革調査特別委員会	6/16	仙台北部道路建設促進期成同盟会監査・茂登枝会総会
5/11	交通死亡事故ゼロ1000日達成褒状伝達式	6/20	議会運営委員会・議会改革調査特別委員会
5/16	2017年原水爆禁止国民平和実行委員会の大要請に対応	6/21	大郷町老人クラブシニアスポーツ大会
5/17	大郷町ゲートボール協会第9回春季町長杯大会	6/22	黒川地域行政事務組合定例会(大和町)
5/18	黒川郡犯罪者予防更生協会総会・大郷町遺族会総会	6/23	議員全員協議会、広報広聴常任委員会
5/19	黒川地方市町村議会連絡協議会総会(富谷市)	6/28	JAあさひな総代会(大和町)
5/20	大郷小学校運動会、議会報告会(ふれあいセンター・中粕川分館)	6/28~30	宮城黒川地方町村議会議長研修会(福井県・富山県)

総務 産業

入札制度・公共施設管理の状況 町民体育館・中央公民館を調査（4月19日）

入札制度について

平成29年度から指名競争

入札の金額を2千万円から5千万円まで拡大し、最高8者以上の指名が可能となった。しかし本町では指名業者から事前辞退がある場合は、1者でも執行するこ

とができる。本町では公共事業の平均落札率は95%と高く行われている。

〈意見〉

①金額変更などの重要案件が改正される場合には、議会への情報提供を要望する。
②入札参加者が1者のときは不調とみなし、改めて入

札を行うべきである。③契約の透明性を確保する観点から、入札監査委員会又は第三者機関の設置をすべきである。④本町の最低制限

価格を、予定価格の66・7%〜85%。随意契約については、かなり高額の契約にも対応しているが、不正の

公共施設管理計画について

町民体育館と中央公民館を調査した結果、施設の傷みが全体的にひどい。町民体育館と中央公民館

について、将来の町づくりを見据えた、安全・安心が確保できる施設となるよう、改修・改善と新築を含め早期検討を求める。公共施設の事故防止のためにも細部にわたり再点検を実施されたい。

教育 民生

児童館運営の状況は 新設児童館を視察調査（4月25日）

大郷町児童館において、

NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘理事長、大郷児童館長、保健福祉課長、教育課長の出席のもと児童館運営方針、児童館事業実施計画、平成29年度事業実施計画等の資料に基づき詳細な説明を受け調査した。

NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘が運営して

いる仙台市8児童館、大和町5児童館、利府町7児童館と比較しても、本町児童館は施設として優れていること、保護者が児童館活動に非常に協力的であること

を聞き、本施設の良さを保護者の姿勢を改めて確認できた。

合同避難訓練を

〈意見〉

今後町と情報・課題の共有を図りつつ、啓発活動も積極的に行うべきである。また、児童館と郷子舎との

合同避難訓練について、日程等の調整が難しく、合同での訓練が一度も実施されていないとのことだが、折り合ってぜひ早急に実施すべきである。



▲子育て支援充実に期待（新児童館）

追跡レポート

空き家等の環境整備対策を (平成26年9月議会、一般質問より)

総務課長

空き家等実態調査により空き家は83戸、うち31戸が居住可能。不衛生・倒壊の恐れありが21戸。調査結果を踏まえ、空き家等対策の推進に関する特別措置法の指針について庁舎内で検討し、関係課と連携を図りながら、対策を講じたい。
(平成27年5月178号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

特別措置法の指針については、条例等の整備は実施していないが、随時相談を受けたものについては、対応している。
総務課長



▲急がれる空き家対策



▲毎日の運動でいつまでも健康に (体力作り教室)

健康寿命の延伸を

(平成26年9月議会、決算審査より)

保健福祉課長

各種保健事業については、健康おおさと21プランなどの各種計画に事業効果を検証するための数値目標を掲げ、毎年度、事業実績を確認し必要な見直しを行いながら計画的に進めている。健康寿命の延伸を目指して、より確実に事業効果が検証できる手法を常に模索し、町民の健康増進に努める。
(平成27年8月179号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

特定健診によるメタボリックシンドロームの該当率は、平成20年度に県内ワースト1位でしたが、その後の生活習慣病予防を重点とした受診率向上と特定保健指導に努め、平成27年度は県内ワースト10位となりました。また、国民健康保険データ分析により明らかになった健康課題への対策について、今年度からPDCAサイクルに沿って保健事業を実施してまいります。

保健福祉課長

住民の 声



八重樫 広行 さん
(中 村)

快適な環境を守り
未来へのまちづくりを

大郷町で暮らし始めて約5年になります。年間を通して極端な気候の変化も少なく、喧騒の苦手な私にとって、大郷は快適な生活環境です。

ただ、動物の多さには正直驚いています。自動車と接触したであろう動物が、毎週のように道路に横たわっているのを見ると複雑な気持ちになります。熊が道路を横断しているのを目撃した時は、我が目を疑いました。

年々、自動車の交通量が少しずつ増えているように感じています。私自身も移動はほとんど車なので、スピードの出やすい直線道路や見通しの悪いカーブ等に、動物注意を促す標識を設置していただきたいと思っています。

それだけ大郷は自然豊かなのでしよう。これから大郷の発展のために様々な開発計画がされていくと思いますが、ホタルの里もある大郷。守るべき場所は守り、未来を見据えた、多くの町民にとって有益な計画も推進していただきたいと思います。

次回定例議会 予定

9月7日(木)~9月22日(金)

皆さんの傍聴をお待ちしています。

気軽に傍聴へ

議会では、住民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。

傍聴は、議会活動に触れることのできる、もっとも身近な方法です。また、町政への知識を深めることもできますので、この機会に議会を傍聴して、町政の動向や議員活動を間近で見て聴いてみませんか。



編集後記

過般、議会改革調査特別委員会主催の議会報告会を初めて行いました。準備不足、経験不足により、多くの皆様に出席していただけなかったという反省はあったが、議員一丸となり取り組むことができたことは、今後の議員活動にとって大きな成果であった。今後も報告会を継続的に行い、皆様の意見を参考にしながら、生活環境、住民福祉の向上に力を尽くします。
(佐藤千加雄)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 和賀 直義 |
| 副委員長 | 佐藤千加雄 |
| 委員 | 赤間 茂幸 |
| | 石川 壽和 |
| | 高橋 重信 |
| | 吉田 茂美 |

議会からのお願い

議会だよりに掲載する写真撮影のために、各行事に議員が出向きます。腕章をつけて行きますので、撮影のご協力をお願いいたします。

